

|        |   |          |   |       |                   |
|--------|---|----------|---|-------|-------------------|
| 学校教育目標 | 『自律・共生・創造』  |          |   |       |                   |
|        | ○自律<br>・自らの生活を見つめ、心身ともにたくましく生きる力を育成する。－【徳】【体】<br>・主体的に考え、粘り強く学び続ける力を育成する。－【知】 |          | ○創造<br>・知識や経験を生かし、持続可能な未来を切り拓く力を育成する。－【知】【開】<br>・広い視野と深い視点もち、様々な情報を活用する力を育成する。－【知】【開】 |       |                   |
| 学校概要   | 創立 45 周年  | 学校長 荻野 弘 | 副校長 飯塚 英恵   | 2 学期制 | 一般学級： 9 個別支援学級： 2 |
|        | 児童生徒数： 301 人  |          | 主な関係校： 新羽小学校、新田小学校  |       |                   |

|                                  |                |   |
|----------------------------------|----------------|---|
| 教育課程全体で<br>育成を目指す資質・能力           | 新羽中<br>ブロック    | 小中一貫教育推進ブロックにおける<br>育成を目指す資質・能力を踏まえた<br>「9年間で育てる子ども像」と具体的取組   |
| 《コミュニケーション能力》<br>《持続可能な社会に貢献する力》 | 新羽小学校<br>新羽中学校 | 人との豊かなコミュニケーションを通して<br>自他のよさを認め、ともに高め合う子ども<br>社会に積極的に貢献しようとする子ども<br><br>①授業参観や合同職員研修を通じて、児童生徒理解を深め指導感を共有する。<br>②人との豊かな関わりをテーマにした人権教育や教科指導の研究を進める。<br>③小中それぞれで行う地域連携活動について共有し、身近な社会を題材にした<br>学習活動を教育活動に取り入れ、地域社会への愛着や未来社会への関心を<br>高める。 |

|                |  |
|----------------|--|
| 中期<br>取組<br>目標 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら学び、ともに学ぶ授業、楽しくわかる授業づくりを推進し、学力の向上を目指します。</li> <li>・自他を大切にし、互いを思いやる集団づくりを目指します。</li> <li>・人や環境との豊かな関わりに学び、地域・社会の持続・発展に向けて、身近なところから取組を考え、行動しようとする人材の育成を目指します。</li> <li>・教職員が相互に啓発し合い、活気にあふれた組織力のある学校運営を進めます。</li> </ul> |
|----------------|--|

| 重点取組分野             | 具体的取組   |
|--------------------|---|
| 知<br>生きてはたらく知      | ① 校内における授業研究・小中一貫ブロックにおける授業研究などを通して、主体的に子どもが取り組む授業を目指す。② 個に応じた支援について共通理解し、生徒一人ひとりに基礎・基本を確実に身に付けさせ、基礎 学力の定着を目指す。 |
| 徳<br>豊かな心          | ① 道徳科の授業改善ならびに指導と評価の一体化を推進する。② 互いに向き合う顔の見える人間関係づくりを通して、コミュニケーション能力の育成と自己有用感の醸成を図る。                              |
| 体<br>健やかな体         | ① 保健体育科、学校保健委員会、部活動等を通じた心身の健康の増進を日常的生活意識に定着させる。② 生活リズムを整えることの大切さを、姿勢、挨拶、言葉遣い等の人間形成の場面に浸透させる。                    |
| 公開<br>地域連携         | ① 小中合同学校運営協議会の実践を通して、地域力の学校への反映と地域行事への協働を深化させる。② 毎月授業のある28日を「新羽の日」として、授業公開する取組を継続実施し、開かれた学校づくりを進展させる。           |
| いじめへの対応            | ① いじめの未然防止、早期発見、適切な組織的対応に努める。② 教育相談や三者面談等により、生徒理解を基にした生徒指導と保護者や地域から信頼される関係を作り、いじめ防止につながる学校づくりを行う。               |
| 人材育成・<br>組織運営(働き方) | ① 年次研修者のOJT等を充実させ、メンターチームとしての有効な活動を展開する。② ミドルリーダーの育成を通し、若手人材の成長を課題とした組織運営を実践する。                                 |
| 特別支援教育             | ① 不登校生徒、別室登校生徒等への日常的な対応を組織化し、特別支援教育コーディネーターの連絡調整のもとに情報共有を進める。② 合理的配慮についての現実的な対応を積極的に協議し、組織的な対応を進捗させる。           |
| 児童生徒指導             | ① カウンセリング・マインドの定着を通して傾聴と受容の基本姿勢から、生徒理解の深化・充実を図る。② 事案に即応した報告・連絡・相談を迅速化し、適時の対応をチーム学校として適切に推進する。                   |
| キャリア教育             | ① 働くことを生きることの意義として考えられる職業観の育成に努める。② 自己を見つめる姿勢について、3年生の進路指導における面接練習指導を通して気づきと判断につなげていく。                          |
| a15                | a25   |
| 担当                 |   |